

2023年11月8日

各 位

フジコピアン株式会社

岡山工場設備における火災に関する調査結果と今後の対策について（ご報告）

10月25日早朝、弊社岡山工場にて発生いたしました一部の設備（塗布機1台）の火災につきまして、近隣ならびにご関係者の皆さまにご心配ご迷惑をおかけいたしましたこと、改めて深くお詫び申し上げます。

社内調査の結果、事故原因を特定することができましたので、対策とあわせて、本日関係当局に報告書を提出し受理されました。

その概要につき、下記のとおりご報告いたします。

今後、今回の対策を遵守するとともに、今回の件に限ることなく、全社を挙げて「安全第一」への更なる意識強化に努め、二度とこのような事故を起こすことがないように徹底いたします。

なお、10月25日弊社ホームページ掲載「岡山工場における火災について」に記載のとおり、製品の供給への影響に関しましては、現在のところ問題はないものと認識しておりますが、万一納期への影響が懸念される場合、速やかにお取引先様あて個別にご連絡申し上げます。

記

1. 原因

塗布工程において、フィルム基材走行中に基準値を超える静電気が帯電し、インク中の有機溶剤が揮発して発生した可燃性ガスに引火したものであります。

具体的には以下のとおりです。

- ・今回、新規開発品の試作にあたり、新規のフィルム基材を使用しておりました。
- ・当該新規フィルムの帯電量は弊社が定めた基準値未満に収まっておりましたが、他の基材に比べると高めの数値でありました。
- ・そうした中、フィルム走行中に更に静電気が蓄積され帯電量が基準値を超えたものです。

2. 対策

- 1) 帯電しやすいと考えられる箇所への除電装置の追加設置。
- 2) 新規開発品に関し、開発担当部門がテスト用の塗布機にて、インクを使用せず基材のみを走行させ、帯電量が基準値未満に収まっているかを事前チェックする。
- 3) 工場において、試作を含め帯電量の測定頻度を見直す。  
(生産開始前のみならず、生産開始直後および生産途中における一定量の塗布完了時)

以上

本件に関するお問い合わせ先  
本社 管理部 06-6471-7071